

# あつぎ観光ボランティアガイド協会ニュース



厚木市小鮎（撮影 阿部会員）

令和2年 4月号 Vol.194  
(2020年)

発行：令和2年 4月 14日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊



## ＜神奈川県内の観光ガイド団体の状況＞

新型コロナウイルスの広まりで神奈川県も緊急事態宣言の対象地域となり、あつぎ観ボラだけではなく県内でもいろいろな企画が中止となっています。

先日、東丹沢七沢観光案内所に伺った時もトレッキング姿の方から「いつ頃再開されるのか」というご質問をされたほか、いつも置かせていただいている案内の棚を何回も確認されている方を見かけました。電話での問い合わせも多いという事で、観ボラの企画が再開されることをお待ちの方が大勢いらっしゃることを感じました。

とは言いながら、会員の健康だけではなく参加された方全員の健康にかかわることです。もう少し我慢の時期が続くことになりそうです。早く皆様を笑顔でお迎えできる時期が来ることを願っています。（最新の連絡では、東丹沢七沢観光案内所も5月6日まで閉所することになったようです。）



閑散とした本厚木駅

先日、会長から神奈川県で活動している他の21団体が、この状況にどのように対応しているか情報が届きましたのでご紹介します。

屋内外に関わらず3月に予定されていた企画・行事はほぼ全部中止され、4月の予定も今後の状況を見て判断する。あるいはすでに5月以降に延期を決定したようで、どこも対応に苦慮している様子が伺えました。

その中でも、神社やお寺の伝統的な神事・仏事は参加者を絞り規模を縮小して開催されているようです。通常であれば行われるガイドは中止したそうです。3月は事務所の移転と重なった団体があり、これに関連する作業だけを行ったという事で苦勞されたと思います。

情報から確認できることは、どこの団体も共通して決定的な対応策がないことです。体調の自己管理と体調不良の時は無理をしないというのが共通した対応のようです。

（編集担当 記）

## ＜厚木の桜＞

先月は、谷太郎川ハイキング、八管山ハイキング等の観ボラ主催の行事だけではなく、新しくなった小田原城の見学も延期、大勢の方が見える飯山桜まつりも中止となり残念ですが、この騒ぎが沈静化するまでは我慢の時と思います。

そうはいつでも、春の気配は確実に感じることができます。そこで、いくつか厚木の桜を廻りましたのでご紹介します。いずれも3月中旬の様子です。



飯山（左）

桜まつりは中止となりましたが、飯山の桜は満開が近づいていました。



七沢森林公園（右）

七沢森林公園も満開となっていました。森のアトリエ付近です。

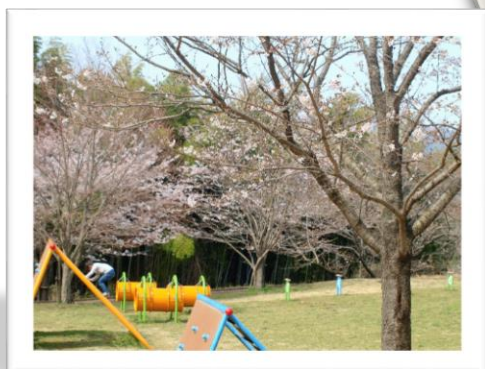


三川合流（左）

3月中旬では、青年の広場の桜は満開までもう少しという状態でした。相模川沿いに歩くと、桜とロマンスカーが目に入りました。

岩田山公園（右）

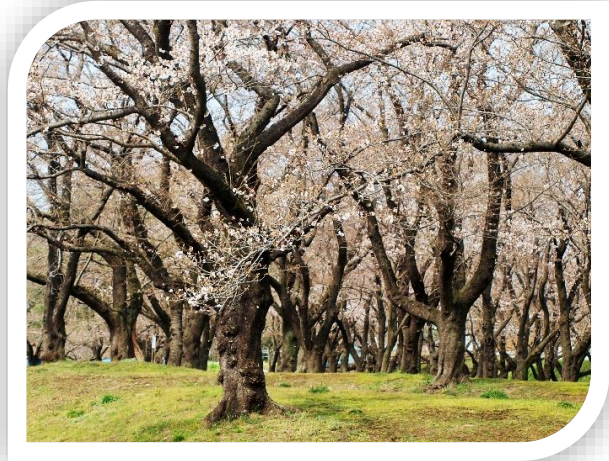
広報でも紹介されていた場所です。桜に囲まれた広場で散歩をする親子を見かけました。アクストを見下ろす散策道ではウグイスの声が聞こえていました。





下川入（右）

近くに厚木市郷土博物館があります。中津川沿いの広場は満開でした。



七沢の池（左）

リハビリテーション病院と環境保全センターの間にある池は、周囲を巡る小道をのんびり歩きながら桜が楽しめる場所です。

今年は、もうすこし出歩くのを控えたほうが良いようです。桜は写真で楽しんで下さい。

（編集担当 記）



## 会員投稿

### 《新型コロナウイルス感染とダイヤモンド・プリンセス乗船記》

寺田 敏

新型コロナウイルスの日本での主な感染源になっているクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の様子が連日連夜、新聞やテレビ等で大きく報道されています。

自分が乗ったクルーズ船がこんな形で報道されるとは想像もしていませんでした。

乗船した年月日

1回目：平成29年9月5～13日

ぐるり北海道周遊と知床クルージング・サハリン

2回目：平成30年7月19～27日 夏の那

覇・石垣島・台湾リゾートクルーズ9日間

3回目：令和元年8月15～23日 熊野大花火と夏の日本南国めぐり9日間



クルーズ船とオプションツアーの観光バス

ダイヤモンド・プリンセスはどんな客船か？興味のある船と比較してみました。

	ダイヤモンド・プリンセス	飛鳥Ⅱ	戦艦大和
船籍	イギリス	日本	日本
所有者	アメリカ プリンセスクルーズ社	日本郵船グループ 郵船クルーズ社	大日本帝国海軍
造船年月	2004年2月	2006年2月	1940年8月
造船所	三菱重工業 長崎	三菱重工業 長崎	呉海軍工廠
総トン数	115,875	50,142	69,000
長さ	290m	241m	263m
速力	22ノット	21ノット	27ノット
人数 客数	2,706人	872人	2,500人 沖縄
乗務員	1,238人	470人	特攻時3,332人

※ダイヤモンド・プリンセスは乗務員1人に客数約3人、飛鳥Ⅱは乗務員1人に客数約2人、

飛鳥Ⅱの方が贅沢な船であることが判ります。

※80年前に建造された戦艦大和と当時の造船技術が卓越していた事が判ります。

外国船なので、乗船する時はパスポートが必要です。100人位の日本人乗務員や旅行会社の添乗員がいますので言葉で困ることはありません。船内放送は初めに英語で、その次に日本語でアナウンスされます。テレビはイギリスやアメリカ等各国の放送が映りますが、日本の地上波は受信できず、日本の港に接岸していてもNHKの国際放送しか映らないので妙な感じです。テレビで見る映画はリモコンで日本語を選択しないと英語になります。船から電話を掛ける時は国際通話になります。

乗船後に客の国籍の発表があり、25～30カ国で約半数が日本人で次にオーストラリア、アメリカ、イギリス、メキシコ人等で、私が乗船したクルーズでは、中国に寄港しないので中国人は殆どいませんでした。今回、感染があったのは「東南アジア大航海16日間」と言うクルーズで、中国の厦門と香港、台湾の基隆、ベトナムのカイランとダナンに寄港。香港の乗船客（その後死亡）が最初の感染者だったと報道されています。日本の船ではないので感染が判明した段階で、入港拒否の選択肢もあったと思いますが、横浜港を母港として運行し、乗船客の約半数が日本人でもあり、入港拒否をしたら、それはそれで非難されたでしょう。

今回の感染騒動で、船籍のあるイギリス政府も、クルーズ船運航会社と連絡を取り合っているはずのアメリカ政府も、何のコメントも出さないのは不思議です。

クルーズ船は高額料金と思われがちですが船と部屋のランクで随分違います。

ランク	日本で運行している船	平均的な船室の1人1泊料金
ラグジュアリー船	飛鳥Ⅱ ・ 日本丸	5万円前後
プレミアム船	ダイヤモンド・プリンセス ぱしふいっくびーなす	2～3万円
カジュアル船	MSC スプレンドィタ コスタ・ベネチア	1万円前後

ダイヤモンド・プリンセスの部屋のランクはスイートルームが7ランクもあり、次に海側バルコニー、海側、内側で、全部で10ランクあります。一番高い「グランドスイート」と一番安い「内側」の料金差は約4倍です。

今回の感染で船室の外に出ない様に言われ、窓のない内側を選んだ方達はストレスがたまるので、時間制限付きでオープンデッキで散歩が許されたと報道されていました。

どの航海も午後5時に出港しました。大勢が乗船するので混雑を避ける為に、乗船時間が指定されますが、早く行っても待たされずに乗船出来ます。私達は昼食代を節約しようと、さもない考えで指定時間を無視して乗船開始の午後1時に乗船し、船室に手荷物を置いて、その足でレストランに行きました。

## レストラン

無料のビュッフェスタイルで食べ放題です。早朝から深夜まで開いています。入口は4箇所、各所に2つの手洗いがあり、係員が監視してい



て、手を石鹸で洗い、備え付けのペーパータオルで拭かないと中に入れてくれません。料理は豊富で時間によりメニューも変わり和食もあります。季節の果物と、スイーツは30種類位で、甘い物が大好きな私ですが、日本人には少し甘すぎる感じです。飲物は10種類位あります。ソフトクリーム、ハンバーガー、ピザは室外のオープンデッキにあり無料です。お酒を飲みたい人は船内14箇所のバーやラウンジか有料レストラン（寿司、イタリア料理、ステーキハウスの3店）に行くか、夕食時のダイニングルームでお金を払うと飲むことができます。食物・飲物は船室に持ち帰り自由なので、寄港地で下船して観光する時は、持ち帰ってリュックに入れて弁当にしました。衛生上、飲物の蛇口に個人の持ち物のボトルを添えることは禁止されていますので（係員が監視しています）一旦、備え付けのコップに飲み物を注ぎ、コップから携帯ボトルに移し替えました。

## 船室

私達夫婦は、室数が最も多い平均的な「海側バルコニー」を毎回選んでいます。

部屋の広さは25㎡（15、5畳）位で、眺めの良いバルコニーがあります。ツインベッドで日本人にはスリッパが用意されています。

紅茶のティーパックが置いてあるのでポットでお湯を沸かして飲めます。ペットボトルのミネラルウォーターも置いてありますが有料です。紅茶は無料なのにミネラルウォーターが有料の理由が判りません。

エアコンの設定温度は日本人には寒すぎるので調整して温度を上げています。部屋を出ると廊下やレストランや劇場等が寒く感じました。今回の感染は密閉されてエアコンが効いた巨大な空間に大勢の人が動いていて、人から人へ感染したのでしょう。

部屋は1日3回掃除をしてくれます。部屋を出る時に鍵をかけますので、不在が直ぐに判るのでしょう。それを見計らって入室して掃除をしています。

## 風呂

シャワーのみ（スイートはバスタブ付）で、備え付けの液体ソープはなじまないのので、浴用石鹸を持参して使用しました。フェイス、ハンド、バスタオルの3つは毎日2人分取



り換えてくれます。バスロープは航海中1回だけ替えてくれます。風呂は展望浴場があり旅館の大浴場と同じで、有料ですが日本人に人気があり予約しないと入浴できません。

## 服 装

①カジュアル 夏でしたから半袖のTシャツと色付でポケットのあるステテコを着てサンダル履きです。行事支援で貰った「あゆコロちゃん」のTシャツも着ました。この格好で船内どこでもOKです。

②スマートカジュアル 夕食は5つあるダイニングルームでフルコース料理を食べます。ルームとテーブルは指定されており下船するまで変わりません。同じメンバーで食事しますので仲良くなります。男性は襟付きのシャツとスラックス、女性はワンピース、ブラウス、スカート等です。係員がいて服装と手洗いをチェックします。違反すると入室を断られます。

③フォーマル 9日間のクルーズだと2回フォーマルナイトの夕食になります。男性はスーツとネクタイ、タキシード、女性はイブニングドレス、カクテルドレス、着物等、堅苦しくて嫌だと出てこない方もいました。



フォーマルナイトのドレスコード

## 洗 濯

船内6箇所コインランドリーがあり、洗濯、乾燥、アイロンがけが出来ます。

洗濯、乾燥、洗剤とも3ドル（約328円）です。「使いなれない外国製の少量の洗剤が300円は高い」と家内は自宅で使用している洗剤を持参して使いました。

## クルーズ船の旅

クルーズ船は動くホテルです。移動の時間は陸上の方が早いですが、朝起きたら目の前に観光地があり楽です。そんな理由で高齢者が多く車椅子の方もチラホラ見かけました。コストパフォーマンスが高いと思います。2回目からリピーター割引が始まり、回を重ねる度に割引の条件が良くなります。早期予約割引もあり、同じダイヤモンド：プリンセスで何度もクルーズ旅行を楽しむことになりました。

船旅で退屈するだろうと本を何冊か持っては行きますが、朝から深夜まで各種のイベントが毎日目白押しにあり、寄港地では観光に出かけて、本は殆ど読みませんでした。

集団食中毒には随分気を使って対応していましたが今回の感染は防がなかったですね。

8月23日出港の「日本美食の地巡りと韓国10日間」に早期予約をしています。いまのところ旅行会社から中止の連絡はありません。コロナウイルス感染騒動が収まり、観ボラの活動が通常に戻り、私も予定通り旅行できることを願っています。



釧路港の特設ブース

市職員、観光協会、観光ボランティアの方々  
観光ガイドと地元物産の販売

「東海道中膝栗毛」といえば十返舎一九の代表作で弥次さんと喜多さんの珍道中は、今でも親しまれています。この物語は出版当時から人気が高かったようで、万延元（1860）年には十数か所を追加した「東海道中くりげの弥次馬」が仮名垣魯文（鈍亭魯文）の文と歌川芳直（一盛斎）の挿絵で出版され、二人が神奈川の浅間神社（横浜市西区浅間町）に立ち寄った様子が描かれています。

現在は住宅開発により埋められてしまいましたが、神社の境内には富士山麓の人穴と繋がっているといわれた横穴があり、「人穴」と呼ばれていました。この穴をのぞき込んだ弥次さんが崖から転げ落ちて大騒ぎというのが「くりげの弥次馬」に描かれた様子です。



富士山麓の「人穴」というのは、富士講の開祖といわれる長谷川角行が室町時代に修業を行った洞窟で、江戸時代に入り角行の教えを受け継いだ修験者たちにより富士講が盛んになると角行が入定したと伝えられる「人穴」は聖地とされ「人穴浅間神社」（富士宮市人穴）が建てられ、神社の前には碑塔が並び、富士講のシンボルである笠型の印が刻まれています。

江戸時代に盛んであった富士講の名残は厚木市内でも富士塚や鐘ヶ嶽の石塔などにみることができます。幕末の政情不安となる中で富士講身祿派が広めた現世利益と救世や平等の教えが尊王思想とも結びついたため、幕府により幾度も富士登山が禁止され、富士講の活動も徐々に衰退していきました。

参考：東海道中くりげの弥次馬（仮名垣（鈍亭）露文）、江戸時代かながわの旅（神奈川県立歴史博物館）、日本民俗事典（弘文堂）、日本宗教事典（村上重良：講談社学術文庫）

\*仮名垣露文（かながき ろぶん）：文政 12（1829）年～明治 2（1894）年 江戸末期・明治初期に活躍した戯作者・新聞記者で代表作に「安愚楽鍋」「西洋道中膝栗毛」があり、当初は鈍亭を名乗っていました。

\*「東海道中栗毛弥次馬」の見返し（右に掲載）には「東海道中久里希」能弥次馬と書かれています。「希」は、ひらがなとして「け」と読むため、「」がつくと「げ」となり、「久里希」能はひらがな読みで「くりげの」と読みます。そこで、本のご紹介は見返しの書かれた「東海道中くりげの弥次馬」で行いました。また、見返しの左側には「鈍亭露文」や「一盛斎芳直」の名が読めることから、仮名垣露文が鈍亭、歌川芳直が一盛斎と名乗っていた時期の作品であることがわかります。



## 最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
3月は以下の予定が中止となりました。 谷太郎川ハイキング、八管山ハイキング、3月定例会、 行事支援；あつぎ飯山桜まつり かながわガイド協議会幹部研修会 4月は以下の予定が中止となりました。 あつぎ観ボラ；4月定例会、第16回通常総会、懇親会 行事支援；あつぎ飯山桜まつり			
3月 11日	飯山・白山	白山ハイキングコース点検整備	会員 4名
4月 4日	七沢観光案内所	役員会	会員 9名
4月 5日	メール開催	編集会議	会員 6名

### 令和2年4月・5月 行事

\* 5月の予定は今後変更される可能性があります。状況はサークルスクエアをご確認ください

	日 時	行 事	会場・場所	内 容	申 込 先
4 月	5日以降の予定は全て中止となりました				
5 月	2日(土)	役員会	アミューあつぎ	—————	中 止
5 月	9日(土) 09:00~12:00	定例会	アミューあつぎ	—————	サークルスクエア
5 月	(延期) 5月 企画ガイド 厚木の巡礼道を迎える (日程再検討中) 春季入込み調査(6月に実施予定) (中止) 5月7日 かながわガイド協議会訪問ガイド研修 鎌倉ガイド協会				

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。

提出期限は定例会の1週間前(編集会議と印刷のため)

#### 編 集 後 記

またまた、新型コロナウイルスの話です。とうとう首都圏や大阪は緊急事態宣言が出てしまいました。厚木市をはじめとする公共図書館なども使用中止が続き、丁度良い機会なので手持ち資料の整理を始めたのですが、いざ取り掛かると気になる項目を見つけるたびに手が止るので意外と時間がかかっています。普段からの整理・整頓が大切ですね。

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 高野 宏  
 寺田 敏 長谷川 和美 三平 与志子